

NTT ドコモが野菜を売る!?

～ 野菜宅配「らでいっしゅぼーや」を買収 ～

2012年1月、NTTドコモは、野菜宅配大手の「らでいっしゅぼーや」を約69億円で買収することを発表しました。らでいっしゅぼーやは、全国2600の契約栽培農家から買い付けた有機野菜などを集めてパッケージ化し、契約者に定期的に届ける事業が主力です。契約者は首都圏を中心に10万6千世帯にのぼります。

らでいっしゅぼーやの最も大きな弱点は、この数年で急速に広がったインターネット通販への対応の遅れでした。同社の宅配は、決まった量の野菜セットを毎週届ける「ぱれっと」とカタログから追加で好きな野菜を選ぶ「元気くん」が2本柱です。週に1度決まった曜日に商品が届き、次の注文は用紙に記入して配送員に渡すというものです。

一方、ドコモが異業種企業の合併・買収をすすめるには訳があります。携帯電話の国内市場はほぼ飽和状態で、音楽配信などで稼ぐ仕組みを作ったアメリカのアップル社の「iPhone」が攻勢を強める中、通信企業があいも変わらず通信企業であり続けることに危機感があります。そこでドコモは、2015年度の新規事業の売上高を2011年度比2.5倍の1兆円に拡大する計画をかかげています。

